

2019年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	ICT の併用による学生主体の学修共同グループ活動の活性化	
実施組織 (または対象のカリキュラム)	理学部	
※連携する他学部・機関がある場合は記入		
実施責任者(所属)	川村嘉春 (理学部)	
取組の目標	ICT を併用して、学生が学生を教えることにより成長する仕組みを促すための学生主体の学修共同グループ活動(学生学修ルームの提供、サイエンスラウンジの運用、自主ゼミの奨励・支援)の活性化を目指す。	
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生同士の学修上の交流を促す場として、「学生学修ルーム」を提供した。 2. 上級生(サイエンスラウンジ学習指導相談員)が下級生の学習指導・相談・質問に応じる場として、「サイエンスラウンジ」を運用した。 3. 能動的学修意欲をさらに高める取組として、「自主ゼミ」を推奨・支援した。 	
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望 (達成の度合いを選び、そう評価する理由と今後の展望を記述)	a. 達成できた	<p>(評価理由) サイエンスラウンジや自主ゼミを通じて、学生の学習に関する意欲・理解度の向上、学習指導相談員の教育能力の向上が図られた。ちなみにサイエンスラウンジおよび自主ゼミの参加者(学習相談員を除く)は延べ275名にのぼり、活動の活性化がなされた。</p> <p>(今後の展望) サイエンスラウンジや自主ゼミは継続してこそ、その真価が発揮されるものなので、次年度以降も授業との連携を密にするとともに、アンケート調査などを参考にして改善を図りながら充実・発展させていきたい。</p>